MITSUBISHI

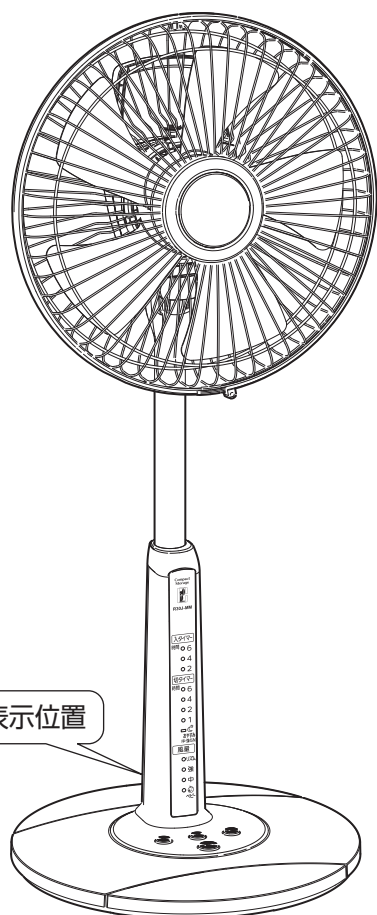
1012875HB9001

三菱扇風機 30cmリビング扇（マイコンタイプ）

形　名

R30J-MM（A）・（P）

取扱説明書

保証書付

もくじ　　ページ

〈便利機能〉

本製品は切タイマーの他に入タイマー機能を搭載し、それぞれを連動して使うことができます。使いかたは以下のページをご覧ください。

ページ

このたびは三菱扇風機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
  なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。
- 小さなお子さまが製品に触れないよう十分ご注意ください。
  ※羽根や首振り機構、高さ調節機構などの可動部に触れるとけがをするおそれがあります。
- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめてください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
  No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

- 電源コードをステップルや釘などで固定しない
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電しない
  また、物をのせたり、挟み込んだりしない
  (電源コードが破損し、火災や感電の原因になります)
- 電源コードやプラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
  (感電・ショート・発火の原因になります)
- 羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない
  (モーター部が飛び出してけがをするおそれがあります)
- 羽根・ガード・ベースを付けずに運転しない
  (転倒したりけがをするおそれがあります)

分解禁止

- 改造や必要以上の分解をしない
  (火災・感電・けがの原因になります)

水ぬれ禁止

- 製品を水につけたり、水をかけたりしない
  (ショートや感電のおそれがあります)

ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
  (感電のおそれがあります)

プラグを抜く

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
  (通電状態では感電やけがをすることがあります)

指示に従い必ず行う

- 交流100Vを使用する
  (直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります)
- 電源プラグについたほこりは清掃する
  (ほこりが付着すると漏電火災の原因になります)
- 電源プラグはがたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む
  (差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります)
- 包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する
  (誤ってかぶったとき窒息し死亡するおそれがあります)
- 製品の組立ておよびお手入れは取扱説明書通りに行う
  (部品がはずれてけがをするおそれがあります)
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止する
  (そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがに至るおそれがあります)
  〈異常・故障例〉
  ・電源コードやプラグが異常に熱い
  ・電源コードに深いキズや変形がある
  ・首振り運転中やコードを動かすと通電したりしなかったりする
  ・焦げくさい臭いがする
  ・ビリビリと電気を感じる
  ・スイッチを入れても動かない　等
  ※すぐに電源プラグを抜いて販売店へ点検、修理を依頼する

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

- 本製品は一般家庭用です。つぎのところでは使わない
  温室、ビニールハウスなど湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ、室外や40℃以上の高温になるところ、ガスレンジなど炎の近く、綿ぼこりや砂ぼこりの多いところ、常に10℃以下になる低温なところ、引火性ガスのあるところ、工場内など油のつきやすいところ、有機溶剤を使用しているところ、直射日光等、強い紫外線の当たるところ
  (感電・火災・破損・故障のおそれがあります)

- 風を長時間、からだにあてない
  (健康を害することがあります)
- カーテン・障害物のそばや不安定な場所では使用しない
  (転倒や転倒による部品の破損により、けがをするおそれがあります)
- 製品を引きずらない (床に傷が付くおそれがあります)
- 製品組立て状態での輸送は行わない。輸送する際は箱に収納する
  (製品・部品が破損するおそれがあります)
- スライドパイプに油などをつけない
  (パイプが急に下降して、けがをするおそれがあります)

プラグを抜く

- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
  (けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります)

接触禁止

- ガードの中や可動部へ指や物などを入れない
  (けがをするおそれがあります。とくに小さなお子さまにはご注意ください)
- 後ガードに顔を近づけない
  (髪の毛が羽根に巻き込まれるおそれがあります)
- 入タイマー設定中は羽根・ガードに触れない
  (羽根が回り始め、けがをするおそれがあります)

指示に従い必ず行う

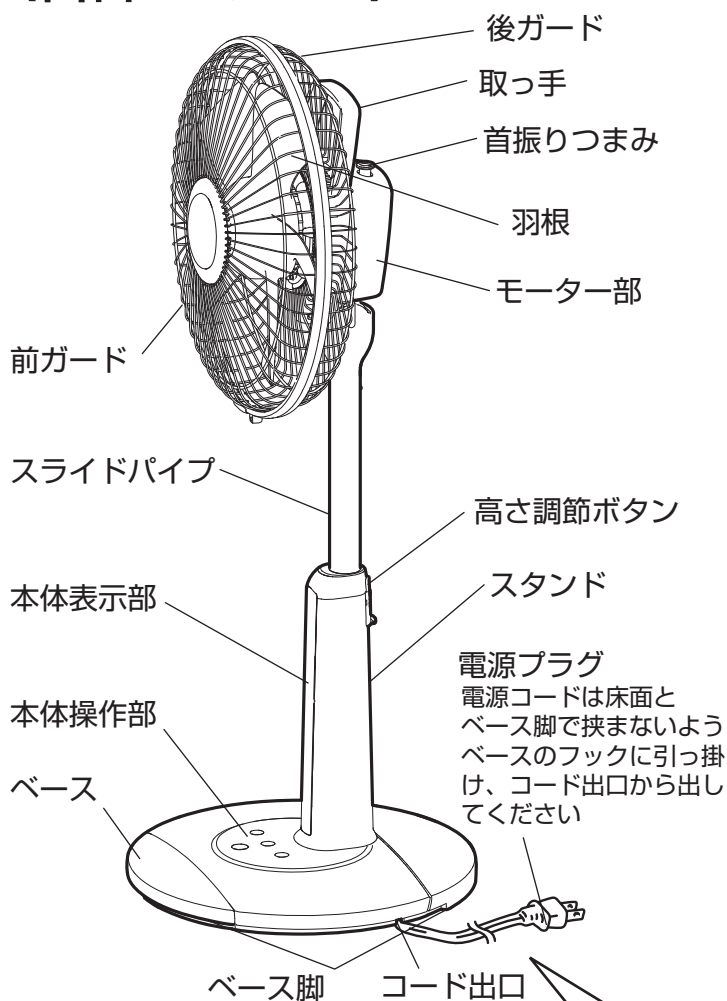
- 本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する
  (羽根やガードがはずれて落下し、けがをするおそれがあります)
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
  (感電やショートして発火することがあります)

- 取りはずし・組立て・お手入れの際は手袋を着用する
  (着用しないとけがをすることがあります)
- 高さ調節、風向きを変える、持ち運びを行う際は、必ず運転を停止させてから行う
  (けがをするおそれがあります)

各部のなまえと組立てかた

この製品は、羽根、ガードが組立てられて梱包されています。必ずベースを組立ててからご使用ください。

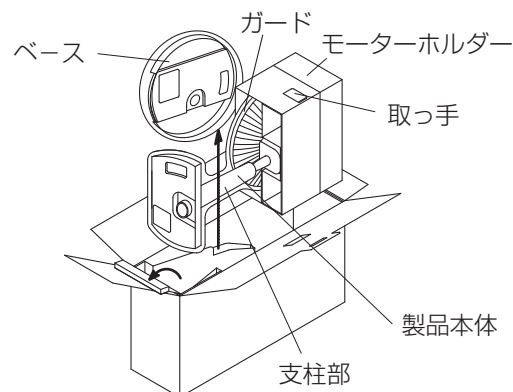
〈各部のなまえ〉

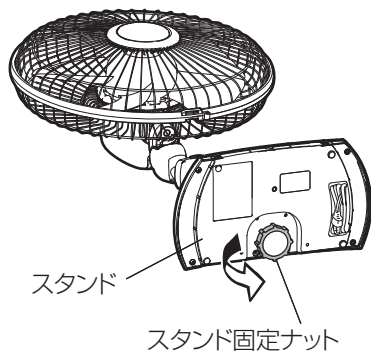
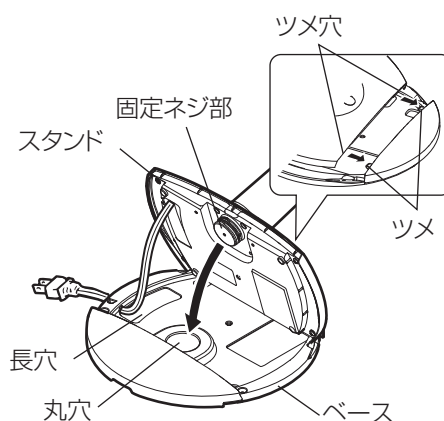
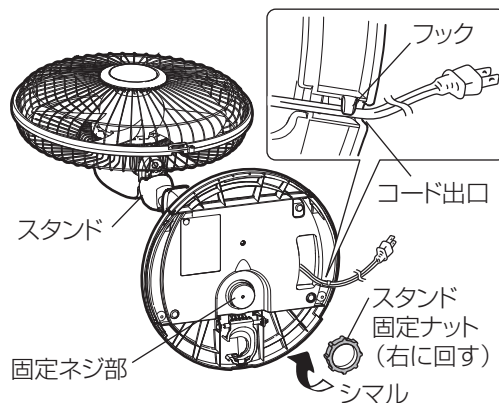
⚠警告

- **ベースをつけずに運転しない**
  （転倒してけがをするおそれがあります）
- **電源コードはベース脚で踏みつけない**
  （電源コードが破損し、火災や感電の原因になります）

⚠注意

- **取りはずし・組立ての際は手袋を着用する**
  （着用しないとけがをすることがあります）

お願い

- **製品を箱から出す際は、ベースを取り出した後、ホルダーの取っ手とスタンド支柱部を持って製品本体を取り出してください。（ガード等を持って取り出すと変形・破損することがあります）**

〈ベースの組立てかた〉

①スタンドの固定ネジ部にあるスタンド固定ナットをはずす。（左に回す）

②電源コードをベースの長穴に通し、スタンドのツメ穴にベースのツメを引っ掛け、ベースの丸穴に固定ネジ部が入るよう静かにスタンドをベースにはめ込む。

③スタンドとベースの連結がはずれないようにゆっくりと横向きにする。
④固定ネジ部をスタンド固定ナットでネジ山を合わせてかたむきのないようにしっかり固定する。
⑤電源コードをベースのフックに引っ掛け、コード出口より出す。

使いかた

⚠注意

- **ガードの中や可動部へ指や物などを入れない。**(けがをするおそれがあります。とくに小さなお子さまにはご注意ください)
- **後ガードに顔を近づけない。**(髪の毛が羽根に巻き込まれるおそれがあります)

1　電源プラグを差し込む

メモ　電源プラグがコンセントに差し込まれているときは、運転を停止していても操作部・スタンドの一部が暖かくなります。
電子回路の待機時消費電力(約0.5W)によるもので故障ではありません。

2　運転する

運転表示部を確認しながらボタンを押して操作する。

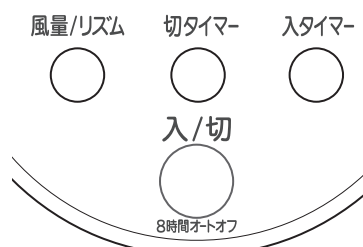
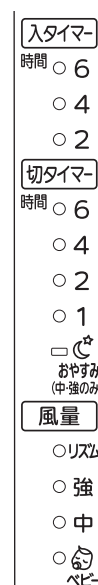
お願い

- ボタンの操作は中央部を軽く押してください。
ボタンの端を押すと操作できないことがあります。

本体操作部

風量/リズム　切タイマー　入タイマー

入/切

8時間オートオフ

運転表示部

(1) 運転および停止する

1.入/切ボタンを押す。

・運転を開始し、風量ランプが点灯します。

2.停止するときはもう一度入/切ボタンを押す。

・運転を停止し、風量ランプが消灯します。

メモ　**メモリー機能について**

本機は停止した前の状態（風量）を記憶するメモリー機能を搭載しています。入/切ボタンを押すと、停止前の風量で運転を開始します。ただし、電源プラグを抜いた後や停電した後に運転するときはメモリーが解除され、「ベビー」で運転を始めます。切タイマーおよび入タイマーはメモリーされません。

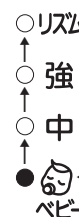
オートオフ機能について

本機は切り忘れ防止のため、運転中にボタン操作がない状態が8時間続くと自動的に運転を停止します。オートオフ機能を解除したいときは、運転中に本体操作部の切タイマーボタンと入タイマーボタンを同時に3秒間押します。運転が停止し、オートオフ機能が解除されますので、再び入/切ボタンを押して運転してください。電源プラグを抜くと、再びオートオフ機能が働くようになります。

(2) 風量を切り換える

風量/リズムボタンを押す。

・ボタンを押すごとに風量とランプが切り換わります。

メモ　ベビーは中より弱い連続風です。
リズム風は自動制御で風量に変化をつけた風です。運転と停止を繰り返しているため、ときおり羽根が止まることがありますが、故障ではありません。

使いかた　つづき

（3）切タイマー運転（自動で運転を停止する。「おやすみタイマー」と「標準タイマー」の2種類から選べます）

セットした時間が経過すると運転が停止します。
・おやすみタイマーは、時間の経過とともに風量が自動で下がります。
　就寝時に風量をだんだん弱くさせたいときなどに便利です。
・標準タイマーは風量変化がなく、セットした時間が経過すると停止します。

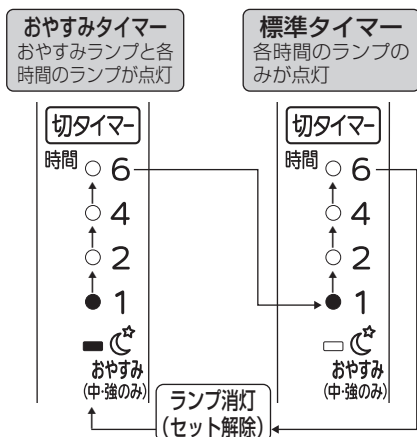
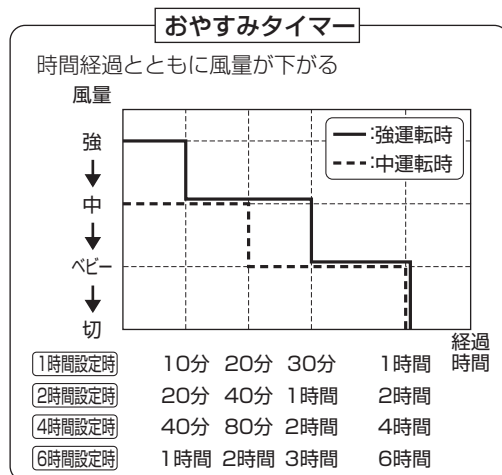
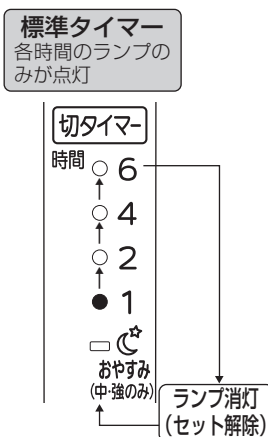
⚠注意
●風を長時間からだにあてない
（健康を害することがあります）

運転中に切タイマーボタンを押す。（切タイマーランプが点灯し、切タイマーがセットされます）

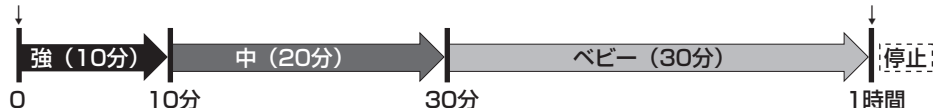
・ボタンを押すごとに設定時間が変わります。

■風量が「中」「強」のとき

■風量が「ベビー」「リズム」のとき

1時間設定時	10分	20分	30分	1時間
2時間設定時	20分	40分	1時間	2時間
4時間設定時	40分	80分	2時間	4時間
6時間設定時	1時間	2時間	3時間	6時間

※「ベビー」および「リズム」は風量が最も弱いため、おやすみタイマーは設定できません。

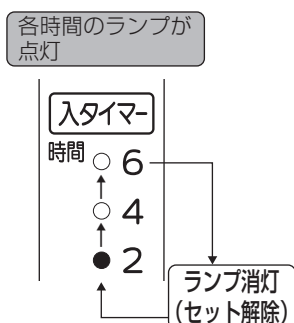
メモ
・タイマー時間の経過中は時間経過とともにタイマーランプが移動します。おやすみタイマーでは風量変化とともに風量ランプも変わります。
・「中」または「強」でおやすみタイマーに設定した後、風量を「ベビー」および「リズム」に切り換えるとおやすみランプも消灯します。
・時間を変更した場合、変更した時点から新たにタイマー時間のカウントが始まります。
・タイマー時間は目安です。

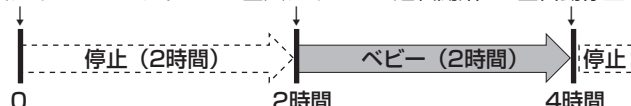
設定例：風量「強」で1時間のおやすみタイマーをセット

（4）入タイマー運転（自動で運転を開始する）

セットした時間が経過すると自動で運転を開始し、2時間後に自動停止します。運転開始時の風量はベビーとなります。
・就寝時などエアコンが停止した後に扇風機を運転させたいとき、または起床時に自動で運転を開始させたいときなどに便利です。

⚠注意
●入タイマー設定中は羽根・ガードに触れない
（羽根が回り始め、けがをするおそれがあります）

停止中に入タイマーボタンを押す。（入タイマーランプが点灯し、入タイマーがセットされます）

・ボタンを押すごとに設定時間が変わります。

メモ
・停止時間を変えたいときは、続けて切タイマーボタン操作を行います。（6ページ（6）項を参照してください）
・運転開始の5秒前に「ベビー」の風量ランプが点滅を開始します。
・タイマー時間の経過中は時間経過とともにタイマーランプが移動します。
・時間を変更した場合、変更した時点から新たにタイマー時間のカウントが始まります。
・入タイマーで運転開始した後でボタン操作をした場合、2時間自動停止は解除され、通常の運転モードに切り換わります。
・タイマー時間は目安です。

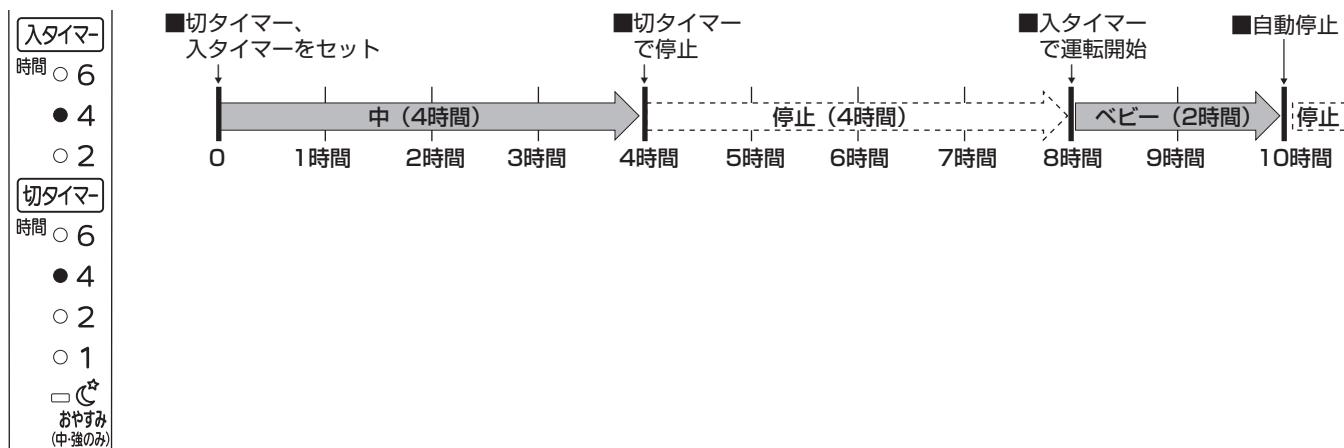
設定例：2時間の入タイマーをセット

（5）タイマー連動①（切タイマー運転の後に入タイマー運転を連動して使う）

就寝時に切タイマーで停止させた後、再び起床時に運転を開始させたいときなどに便利です。

1. 運転中に、切タイマーボタンを押して切タイマーを設定する。（5ページ（3）項参照）
2. 続けて、入タイマーボタンを押して入タイマーを設定する。（5ページ（4）項参照）

・セットと同時に切タイマー時間のカウントが始まり、セットした時間が経過すると停止します。
続けて停止した時点から入タイマー時間のカウントが始まり、セットした時間が経過すると再び運転を開始します。

メモ
・切タイマーと入タイマーを設定した後、切タイマーを「セット解除」（切タイマーランプ消灯）したまま3秒経過すると入タイマーも解除されます。
・入タイマーセットは切タイマー経過中であれば、途中からでもセットすることができます。この場合も、入タイマーの時間カウントは切タイマーによる運転停止時点から始まります。

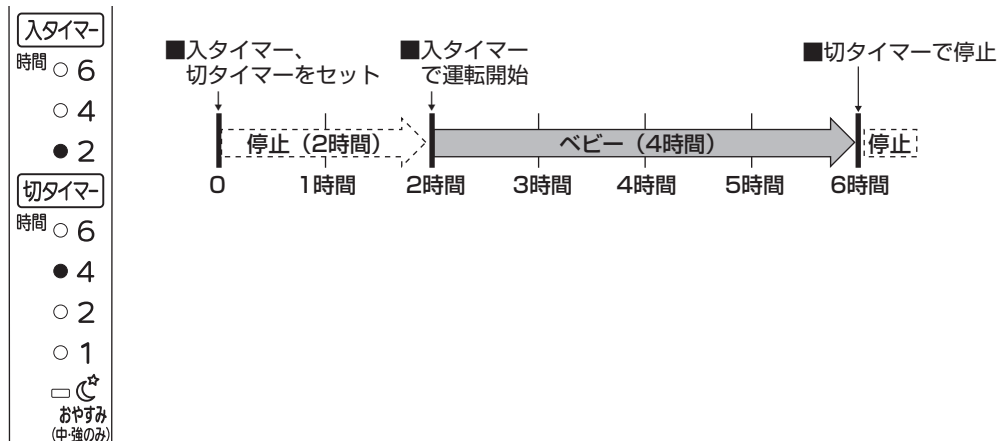
設定例：風量「中」で4時間の切タイマーをセットし、続けて4時間の入タイマーをセットした場合

（6）タイマー連動②（入タイマー運転の後に切タイマー運転を連動して使う）

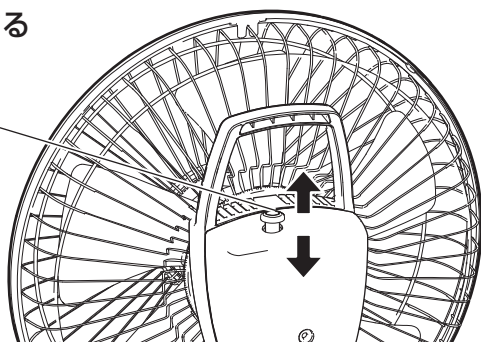
入タイマーで運転を開始した後、停止させる時間も設定したいときなどに便利です。

1. 停止中に、入タイマーボタンを押して入タイマーを設定する。（5ページ（4）項参照）
2. 続けて、切タイマーボタンを押して切タイマーを設定する。（5ページ（3）項参照）

・セットと同時に入タイマー時間のカウントが始まり、セットした時間が経過すると運転を開始します。
続けて運転開始した時点から切タイマー時間のカウントが始まり、セットした時間が経過すると停止します。

メモ
・入タイマーと切タイマーを設定した後、入タイマーを「セット解除」（入タイマーランプ消灯）したまま3秒経過すると切タイマーも解除されます。
・切タイマーセットは入タイマー経過中であれば、途中からでもセットすることができます。この場合も、切タイマーの時間カウントは入タイマーによる運転開始時点から始まります。
・また、運転を開始した後でも切タイマーをセットすることができます。

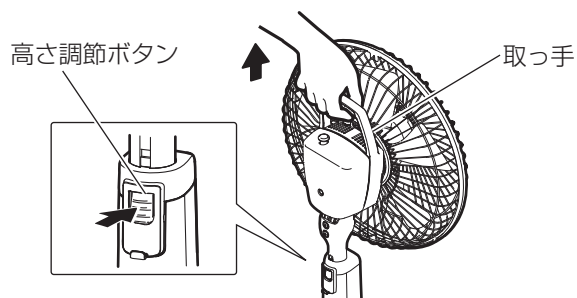
設定例：2時間の入タイマーをセットし、続けて4時間の切タイマーをセットした場合

3　首振り運転をする

首振りつまみを操作する

4　高さを調節する

⚠注意

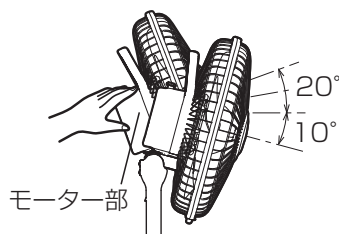
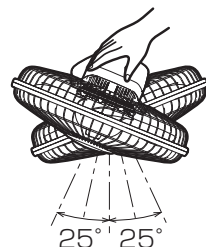
- **高さ調節、風向きを変える、持ち運びを行う際は、必ず運転を停止させて行う**
(けがをするおそれがあります)

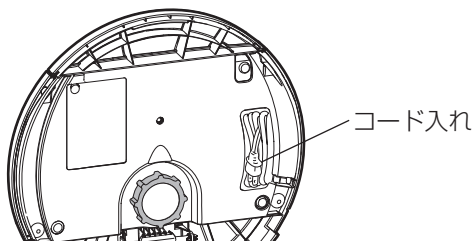
高さ調節ボタンを押し、取っ手を持って上下させる。

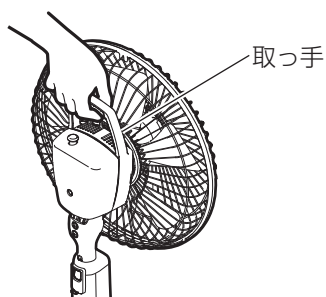
・最下部・中間2か所・最上部の合計4か所でスライドパイプがロックできます。
それ以外は自由に上下できます。

5　風向きを変える

スタンド部を軽く押さえて、モーター部を上下・左右に動かす。

・操作時に「カチカチ」と音がします。

- 上下角度調節
上向きに2段階、下向きに1段階風向きを変えることができます。

- 首振り中心の調節
スタンド正面を中心に左右それぞれ2段階、25°まで首振り中心をずらすことができます。（設定した位置を中心に85°首振り動作を行います）

6　コードの収納

収納時はコード入れに納める。

7　持ち運び

モーター部を下に押し下げ､パチンと音がしてスライドパイプがロックしたことを確認してから取っ手を持って持ち運ぶ。

お手入れと保管

⚠警告

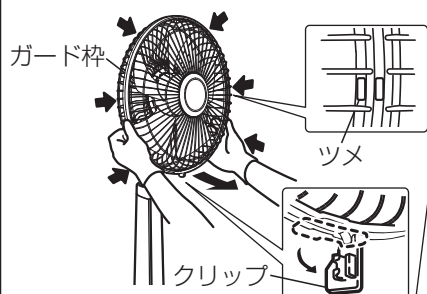
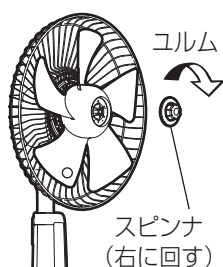
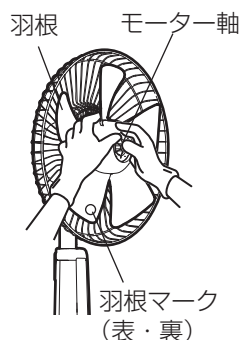
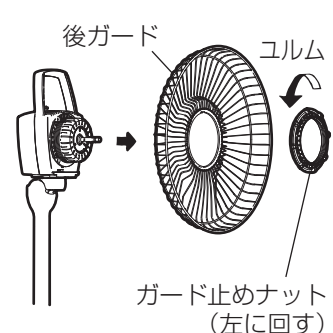
- **製品の組立ておよびお手入れは取扱説明書通りに行う**
  （部品がはずれてけがをするおそれがあります）
- **羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない**
  （モーターが飛びだしてけがをするおそれがあります）
- **お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く**
  （通電状態では感電やけがをすることがあります）

⚠注意

- **取りはずし・組立て・お手入れの際は手袋を着用する**
  （着用しないとけがをすることがあります）

〈お手入れ〉

運転直後はモーター軸が高温になっていますので、お手入れは運転停止後30分程度待ってから行ってください。

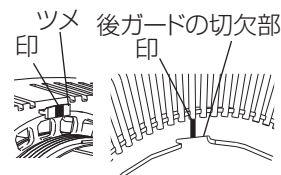
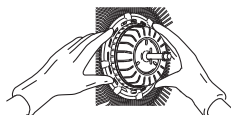
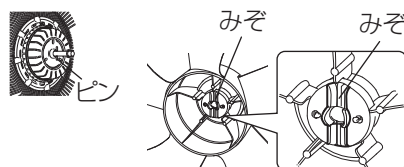
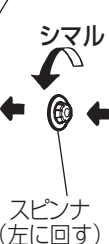
①前ガードはクリップを図のようにおこし、ガード枠を親指で支え、ツメ部左右３か所を下から順に手前に引くようにしてガードをはずす。（クリップを引っ張ると破損するおそれがあります）

②スピンナを右に回してはずす。

③羽根は円筒部分を両手で持ち、モーター軸を親指で押さえながらはずす。**（高温注意）**

④後ガードをはずして清掃する場合は、ガード止めナットを左に回してはずす。

- 汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようにふき取る。
- モーター部のほこりは掃除機等で取る。

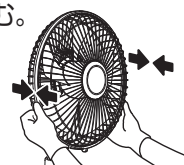
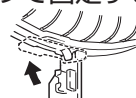
※可動部（モーター、首振り機構部など）への注油の必要はありません。

お願い

- **お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。**
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤（変質・変色の原因になります）
- **危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は取らないでください。**
- **スプレー〈掃除用、殺虫用、整髪用など〉をかけないでください。（破損・変質の原因となります）**
- **お手入れの際、羽根・ガード等に強い衝撃を与えないでください。（破損するおそれがあります）**

〈お手入れ後の組立てかた〉

①後ガードの切欠部をツメに引っ掛ける。
- **印同士をあわせる**

②ガード止めナットを右に回し、後ガードにがたつきのないようしっかり締め付けて固定する。

③羽根をモーター軸に差し込む。
- **羽根のみぞをモーター軸のピンに合わせる**

④スピンナを左に回して固定する。

⑤前ガードを後ガードの印に合わせて引っ掛ける。

⑥両手で上から順にツメ部左右3か所を「パチン」とはめ込む。

⑦クリップで固定する。

- **前ガードはガード外周部を持って取付ける**

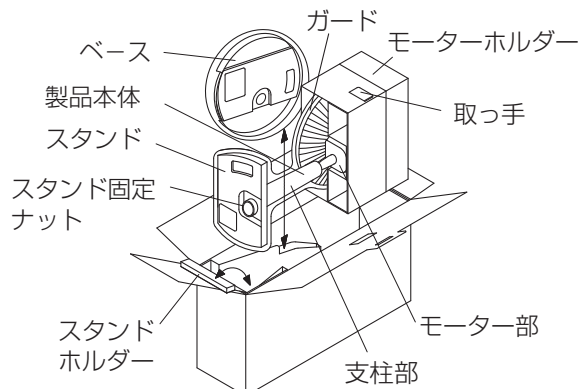
〈保管〉

箱に収納する場合

1. スタンド固定ナットをゆるめてスタンドからベースをはずす。
   （スタンド固定ナットはスタンドに締め付けておく）
   （3ページ「各部のなまえと組立てかた」参照）
2. ポリ袋（大）2枚をそれぞれ製品本体のモーター部とスタンドにかぶせる。
3. モーター部にモーターホルダーをかぶせる。

●モーター部を正面に向けて収納してください。
　正面に向かない場合は、首振り運転させて向けてください。

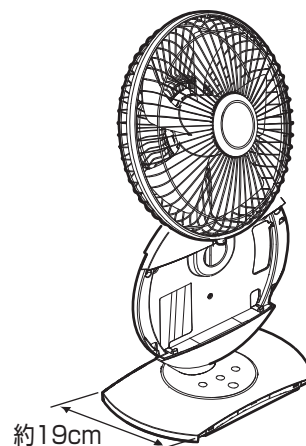
4. モーターホルダーの取っ手と支柱部を持って収納する。
5. ベースをポリ袋（小）に入れて収納する。

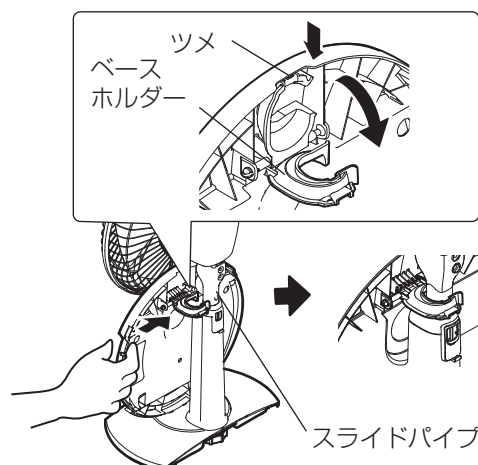
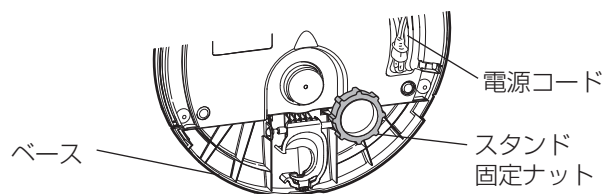
※湿気の少ないところに保管する。

箱を使わずそのまま収納する場合

⚠警告

●**ベースをつけずに運転しない**
（転倒してけがをするおそれがあります）

⚠注意

●**製品組立て状態での輸送は行わない**
輸送する際は箱に収納する
（製品・部品が破損するおそれがあります）

本製品はベースを取りはずし、スライドパイプに引っ掛けることで約19cmの幅で押し入れ等に収納することができます。

1. 製品を横向きに倒して電源コードを収納し、スタンド固定ナットをゆるめてスタンドからベースをはずす。
   （スタンド固定ナットはベースをはずした後、スタンドに締め付けておく）
2. モーター部を正面に向けてスタンドを立たせる。
3. ベース裏側のベースホルダー先端を矢印の方向に押さえてツメからはずし、約90°の位置まで回転させる。
4. ベースをスタンドの横からガードとの間に入れ、ベースホルダーをスライドパイプに引っ掛け、静かに下に降ろす。

「故障かな？」と思ったら

次のような症状があれば点検してください。
（３ページ「各部のなまえと組立てかた」、４～７ページ「使いかた」、８・９ページ「お手入れと保管」参照）
点検処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店に点検・修理を依頼してください。費用についてはお買上げの販売店と相談してください。

こんなとき	原　因	点検・処置	参照ページ
運転しない	電源プラグが抜けていませんか	電源プラグをコンセントに確実に差し込む	4
・運転中に異常音や振動がある ・羽根が回らない	羽根にガード、ガード止めナットが当たっていませんか	ガード止めナットを緩みのないように正しく確実に締め付ける	8
	後ガードの向きは正しく取付けられていますか	後ガードを正しい方向に取付ける	
	スピンナ、ガード止めナットが確実に締め付けてありますか	緩みのないように正しく確実に締め付ける	
モーター部分が異常に熱い	ほこりがたまっていませんか	ほこりを取り除く	8
操作部･スタンドの一部が暖かい	電子回路の消費電力によるもので故障ではありません		4
羽根がときどき止まる	リズム風ではありませんか	リズム風は運転と停止を繰り返しているため、ときおり羽根が止まることがありますが、故障ではありません	4
切タイマー運転で風量が変わる	おやすみタイマー設定ではありませんか	おやすみタイマー設定では時間経過とともに風量が弱くなります	5
運転が自動的に止まる	8時間オートオフ機能によるものではありませんか	切り忘れ防止のため、運転開始後ボタン操作がない状態で8時間を経過すると自動的に停止します	4
	入タイマーによる運転ではありませんか	入タイマーによる運転では2時間を経過すると自動的に停止します	5
突然動き始めた	入タイマーによる運転ではありませんか	入タイマーによる運転では設定時間を経過すると自動で運転を開始します	5
入タイマー運転で風量が変えられない	入タイマー運転による風量は「ベビー」のみです 他の風量は選択できません		5
首振りが左または右に偏る	首振り中心の調節によるものではありませんか	首振り中心の調節を行う	7

仕　様

（強運転の場合）

形　名	電圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	最大風速 (m/s)	風量 (m^3/h)	首振角度 (度)	質量 (kg)	コードの長さ (m)
R30J-MM(A)・(P)	100	50	30	2.9	2200	85	4.0	1.9
		60	34	2.8	2150			

※運転停止状態で電源プラグがコンセントに差し込まれているときの消費電力は約0.5Wです。(電子回路が操作を受付けるために必要な電力です)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

● 本体への表示内容

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

（設計上の標準使用期間とは）

● 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
● 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

（経年劣化とは）
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

【製造年】（本体に西暦4桁で表示してあります）

【設計上の標準使用期間】12年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　　（JIS C 9921-1による）

環境条件	電圧	単相100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	JIS Z 8703の試験状態を参考
	設置条件	標準設置	取扱説明書による
負荷条件		定格負荷（風速）	仕様（P.10）による
想定時間等	1日あたりの使用時間	8（h/日）	
	1日使用回数	5（回/日）	
	1年間の使用日数	110（日/年）	
	スイッチ操作回数	550（回/年）	
	首振運転の割合	100（%）	

保証とアフターサービス

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店へお申しつけください。
お買上げの販売店にご依頼できない場合は、各窓口へお問い合わせください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、
各窓口 へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
　①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
　②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法　受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

フリーコール 0120-139-365（無料）
（いつもサンキュー　365日）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049（有料）	(03) 3414-9655 （有料）

■ご相談対応　平　日　9：00～19：00
　　　　　　土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル 0120-56-8634（無料）

インターネット
www.melsc.co.jp

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111 （有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901 （有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K10A

補修用性能部品の保有期間について

●当社はこの三菱扇風機の補修用性能部品を、製造打切り後8年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証（保証書）について

●保証書は、所定の事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
●保証期間は、お買上げ日から１年間です。保証書の記載内容によりお買上げの販売店が修理致します。
その他詳細は、保証書をご覧ください。
●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

※ダウンロード版は保証書を削除しています。

☆長年ご使用の扇風機の点検を！

故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さま メモ		
サービスを依頼されるとき便利です。	形　　　名	
	お買上げ年月日	年　　月　　日
	お買上げ店名 （住　　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿＿＿

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。「材質名は主材料にISO規定の略号を使用」

販売元　株式会社　三菱電機ライフネットワーク
〒135-8071　東京都江東区有明3-6-11（TFTビル東館7F）